

# 平成29年度教員免許状更新講習

## 時間割・概要

### 【選択領域1 国語科の教育内容の充実に向けて】

7月22日（土曜日）

#### 《時間割》

時 間	科 目 等
8 : 1 5 ~ 8 : 4 5	受付
8 : 4 5 ~ 8 : 5 5	開講式・オリエンテーション
9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0	和歌文学の魅力 (講師 岸本 理恵)
1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 1 0	ダイクシス表現からとらえる日本語 (講師 藤本 真理子)
1 3 : 1 0 ~ 1 4 : 4 0	『史記』を読む (講師 鷹橋 明久)
1 4 : 5 0 ~ 1 6 : 2 0	言語変化と価値観 一ゆれ・乱れをどう扱うか。一 (講師 灰谷 謙二)
1 6 : 3 0 ~ 1 7 : 2 0	履修認定試験 (筆記試験)

## 《概 要》

### 和歌文学の魅力

(講師 岸本 理恵)

平安時代の和歌や和歌にかかわる古典文学作品をとりあげ、研究の動向を紹介しながら和歌のおもしろさや解釈のポイントを紹介します。その上で、古典作品を生徒に親しみやすく提示するための方法について出席者の皆様と一緒に探りたいと思います。

### ダイクシス表現からとらえる日本語

(講師 藤本 真理子)

ダイクシス表現とは、話し手・発話時・発話場所・聞き手などが明らかになって初めて意味をなす表現のことである。このダイクシス表現の中でもとくに、コソアド言葉を中心にあつかい、言語表現から知識のしくみを考えていく。これまでの現代日本語の研究方法をふまえ、さまざまな実際の例を通して、分析をおこなう。また、古典語も取り上げ、日本語の歴史的な変化についても目を向ける。

### 『史記』を読む

(講師 鷹橋 明久)

漢代を代表する散文作品である司馬遷(前145?～前87)の『史記』と班固(32～92)の『漢書』。ともに中国の歴史書の中では最高の評価を得ているものであり、文学的にも高く評価されている。本講では、『史記』と『漢書』に共通する歴史的にも有名な伝記を取り上げ、比較することにより、『史記』の文体の特徴や特異性について検討してみたい。

### 言語変化と価値観 一ゆれ・乱れをどう扱うか。一 (講師 灰谷 謙二)

学問としての言語研究は、言語そのものの価値づけをしません。尊卑上下の無いものとして相対的に互いの言語をありのままに見ようとしています。

しかし、言語生活は人の営みであり、異なる価値観、異文化・多文化接触との衝突と軋轢の世界でもあります。それをどう受け止め生きていくかを考えることは避けて通れない重い問題でもあります。国語教育の場でどうこれを扱うことができるかについて考えてみたいと思います。